

# 1 2 月定例記者会見

- 令和7年12月24日(水)／午後3時
- 本館2階応接室

## 1. 市内の事業・イベントについて

### <担当部署による案内>

- |                                                               |          |
|---------------------------------------------------------------|----------|
| ▶ 1月のおでかけ情報(虚空蔵さん祭り、火渡り、鴨フェア)                                 | 商工観光課    |
| ▶ 「小郡水平社創立100周年記念集会」開催(1/31)                                  | 人権・同和対策課 |
| ▶ 「日子神社発句額」市有形文化財指定記念講演会開催(1/10)<br>俳句がつなぐ地域社会 ―「日子神社発句額」を例に― | 文化財課     |
| ▶ 「第13回小郡ジュニア歴史博士表彰式・発表会」開催(1/24)                             | 〃        |
| ▶ 「小郡市文化財保存活用地域計画」が認定<br>認定記念講演会「文化財とまちづくり」開催(1/25、2/7、2/23)  | 〃        |

### <その他イベント> ※概要のみ広報が説明

- |                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| ▶ 市内の元旦行事情報                    | 商工観光課     |
| ▶ 「二十歳のつどい」開催(1/11)            | 子ども育成課    |
| ▶ 「令和8年小郡市消防出初式」開催(1/12)       | 防災安全課     |
| ▶ 市内三か所で左義長を開催                 | コミュニティ推進課 |
| ▶ 片岡所長が筑紫古代史論考を上梓 ―邪馬台国研究の集大成― | 文化財課      |
| ▶ 節分イベント「きゅうれき鬼×福まつり」開催(2/1)   | 九州歴史資料館   |

## 2. 記者の皆様より

1月の定例記者会見は、1月23日(金)／午後1時、本館2階応接室で予定

# Press Release



令和7年12月24日

報道機関各位



叶え星文様  
kanaeboshi monyou

## 1月のおでかけ情報



小郡市観光大使  
オリリン・ヒコリン

### 虚空蔵（こくぞう）さん祭り

この日にお金を呼び寄せる種となる「幸運種銭」を借り、次の祭日に倍にして返すと、一年中小遣い銭に不自由しないと言われています。

「幸運種銭」を商売の元銭にすれば商売益々繁盛し、財布に入れておけば小遣いに不自由しないと言われ、多くの方が参拝されています。

- 日時：1月13日（火）午前9時～午後3時
- 会場：小郡日吉神社
- 問合せ先：（一社）小郡市観光協会 電話 0942-72-4008



### 火渡り

新年の無病息災・家内安全などを願う「初観音（はつかんのん）・柴燈護摩供火渡り（さいとうごまくひわたり）」。ヒノキの枝が燃え落ちた後の灰の上を裸足で歩き、一年の息災と幸福を祈る行事です。

仏の「知恵の火」によって煩惱を焼き尽くしてしまうという意味も込められています。

※午前10時～初観音法要、午後1時～火渡り

- 日時：1月17日（土）
- 会場：如意輪寺
- 問合せ先：（一社）小郡市観光協会 電話 0942-72-4008



添付資料 無

クロスロードふくおか  
小郡市特集ページ



担当課：商工観光課  
担当者名：一木（いちき）  
連絡先：0942-73-9103（直通）

令和7年12月24日

報道機関各位

## 「小郡水平社創立100周年記念集会」を 開催します

1926年（大正15年）4月25日、小郡小学校講堂において小郡水平社創立大会が開催されてから、2026年で100周年を迎えます。

これまでの部落解放・人権確立に向けた歩みを振り返り、小郡水平社の活動に学ぶことは、市民一人ひとりの人権が尊重される人権のまち・小郡を展望するうえで極めて重要です。

つきましては、これまでの運動の歴史を再確認し、あらゆる差別の撤廃と人権確立に向けた決意を新たにするため、下記の通り記念集会を開催いたします。

### 記

日時 1月31日（土）／13時10分～（オープニングセレモニー12時50分～）

場所 小郡市文化会館 大ホール

### 次第概要

- ①オープニングセレモニー「解放太鼓」
- ②主催者あいさつ
- ③来賓あいさつ・紹介
- ④祝電・メッセージ披露
- ⑤功労者表彰
- ⑥記念講演 演題「小郡水平社創立100周年によせて」  
講師 組坂 繁之さん（部落解放同盟中央本部最高顧問  
・反差別国際運動（IMADR）共同代表理事）

添付資料 別紙チラシ1枚

### 問合せ先

担当課：人権・同和対策課  
担当者名：重石  
連絡先：0942-73-9122



人の世に熱あれ、人間に光あれ。

# 小郡水平社

創立100周年記念集会

# 100<sup>th</sup> Anniversary

とき

2026年1月31日(土)

ところ

小郡市文化会館大ホール

12:30 ● 受付

12:50 ● オープニングセレモニー

「太鼓」演奏

13:10 ● 開会行事

14:40 ● DVD上映

15:00 ● 記念講演

入場無料

講師

組坂 繁之さん

部落解放同盟中央本部最高顧問  
反差別国際運動(IMADR)共同代表理事

テーマ

「小郡水平社創立100周年によせて」

プロフィール

1998年から24年間にわたり部落解放同盟中央執行委員長を務め、  
人権教育啓発推進法や部落差別解消推進法の制定に尽力。  
なお、IMADRは1993年国連の経済・社会理事会との協議資格を得た。



- ◆ 託児を行います。(無料: 1月23日(金)までにお申し込みください。)
- ◆ 要約筆記・手話通訳を行います。

●主催/小郡水平社創立100周年記念事業実行委員会・小郡市・小郡市教育委員会

【問合わせ先】小郡水平社創立100周年記念事業実行委員会 TEL0942-73-9122 (直通)

令和7年12月24日

報道機関各位

## 「日子神社発句額」市有形文化財指定記念講演会

### 俳句がつなぐ地域社会 — 「日子神社発句額」を例に —

文化13年（1816）2月、日子神社（小郡市山隈）へ2枚の発句額が奉納されました。額にはそれぞれ50句が記され、句の上部には「大関」「関脇」「小結」「前頭」と、相撲番付のように順位が付けられています。句を詠んだ人の俳号と地名が書かれており、それを見ると松崎・下高場（筑前町）・東小田（筑前町）など、日子神社を中心として半径5km程度に住む人々であったことが分かります。

そんな日子神社発句額が、10月29日に市有形文化財に指定されました。それを記念して、記念講演会を開催します。



日子神社発句額（1枚目）縦41.2cm×横155.7cm×奥行7.0cm

講師：川平 敏文さん（九州大学大学院人文科学研究院教授）

会場：埋蔵文化財調査センター 研修室

日時：1月10日（土） 13時半～15時（受付13時～）

定員：60名（先着順）

受講料：無料

申込み：電話・申込フォームで ①住所 ②氏名 ③電話番号 を明記し申込み  
（12月8日（月）9時から申込み受付開始）



添付資料 ⑦（1枚） ・ 無

問合せ先  
担当課：文化財課  
担当者名：大城、坂井  
連絡先：0942-75-7555



「日子神社発句額」市有形文化財指定記念講演会

# 俳句がつなぐ地域社会 —「日子神社発句額」を例に—

講師

川平 敏文 氏

(九州大学大学院人文科学研究院教授)

日時

2026年1月10日(土)

13時30分～15時00分 (受付13時00分～)

会場

小郡市埋蔵文化財調査センター 研修室

(〒838-0106 福岡県小郡市三沢5147-3)

定員

60名 (先着順)

参加費

無料

フォームからのお申込みは  
スマートフォン等で、右の  
二次元コードを読み取って  
ください。



お申込みは

12月8日(月)より受付開始

☎ 0942-75-7555 (小郡市埋蔵文化財調査センター)・申込フォームにて

主催：小郡市教育委員会

問合せ：小郡市教育委員会文化財課 (小郡市埋蔵文化財調査センター)

# Press Release



令和7年12月24日

報道機関各位

## 第13回小郡ジュニア歴史博士が決まりました！

「小郡ジュニア歴史博士」は、子どもたちが小郡の歴史・文化を主体的に探究することを通して、ふるさとへの誇りや愛着、郷土愛を育むことをねらいとして平成25年度から実施しています。

今年度で第13回目となり、応募作品数370点（応募者391人）の中から39点（大賞2点、優秀賞4点、佳作10点、奨励賞23点）と学校賞1校の受賞が決まりました。

なお、表彰式では、受賞者に賞状が渡され、大賞・優秀賞の受賞者が研究成果のプレゼン発表を行います。また、昨年に引き続き、小郡高等学校の郷土研究部の生徒さんが、研究成果の特別発表を行います。

### 第13回小郡ジュニア歴史博士表彰式・発表会

○ 日時 令和8年1月24日（土） 14時00分～15時20分

○ 会場 文化会館 大ホール（入場者数制限無し）

- 内容
- ・あいさつ
  - ・賞状授与
  - ・作品発表（6名予定）
  - ・特別発表  
【小郡高校郷土研究部】
  - ・講評



昨年度表彰式の様子

- ホワイエで表彰作品39点の展示を行います。

添付資料 有（ 枚 ） ・ 無

問合せ先

担当課：文化財課

担当者名：大城、権藤

連絡先：0942-75-7555



## 1 2月プレスリリース資料

大賞 2 作品・優秀賞 4 作品の評価された点と学校賞の受賞理由

### ○大賞

のぞみが丘小学校 6年 <sup>なかの さやね</sup> 中野 爽音さんの作品 「〇〇時代はどんな小郡だった??」

埋蔵文化財調査センターを見学して実物を見たり、職員に聞き取りをしたり、そのほか本やインターネットも使い、多様な方法で調べています。そして人々が暮らした足跡として、市内から出土した土器に焦点をあて、各時代の土器や陶磁器の特徴と小郡の様子を、写真や絵を使って、表形式に分かりやすくまとめました。多様な調べ方と小郡市の歴史全体をコンパクトにまとめた、構成力が高く評価されました。

### ○大賞

三国中学校 3年 <sup>しんむら あきこ</sup> 進村 亜希子さんの作品 「つこっこのこと もっと知りたくなっちゃった」

中3になって小郡ジュニア歴史博士の作品応募ができるのは最後になる今年、6年前初めて応募した時のテーマである「つこっこ」について、もう一度調べてみたいと思ったことが研究の動機です。現地に足を運んで調べたり、詳しい人や発掘調査を担当した人にインタビューしたりして多様な方法で調べています。地域性・独創性など評価の6観点すべてで高い評価を得ました。

### ○優秀賞

御原小学校 4年 <sup>ふかまち いちか</sup> 深町 一加さんの作品 「小郡の歴史 大保原の戦い」

今小学4年生で歴史を系統的に学ぶ前ですが、小郡の大きな歴史的出来事である大保原合戦を取り上げ、その出来事がどういった時代に位置づけるのか、どのような出来事なのか、等について見出しを付けて分かりやすくまとめています。本やゆかりの地に足を運んで調べたことを通して、戦争の苦しみや平和の尊さに気づいたまとめが高く評価されました。

### ○優秀賞

のぞみが丘小学校 6年 <sup>いまむら みと</sup> 今村 美都さんの作品 「小郡の七夕さがし」

日常生活の中で、よく見聞きしていた七夕に関すること。「なぜ小郡は七夕？」と疑問に思ったのが研究のきっかけです。そこから市内の七夕に関係のある場所を探し、そこにある物と込められた願いなどを、写真を添えてまとめています。24か所も探し歩いた行動力と探究心、物から人の心に思いを巡らせる感性が高く評価されました。

### ○優秀賞

小郡小学校 3年 <sup>ふくだ りつき</sup> 福田 莉都希さんの作品 「小郡市のお米の歴史たんけん 2025」

小郡市の米づくりに関して、歴史、偉人、道具、現代の米づくりなど様々な観点から調べまとめています。特に、人物にインタビューしたり、実際に体験したりして分かったことを絵や写真を使って、分かりやすくまとめた所が高く評価されました。

### ○優秀賞

小郡小学校 3年 <sup>ふくだ りおが</sup> 福田 莉央雅さんの作品 「鴨のまち小郡をたずねて 2025」

小郡市で今最もホットなテーマである鴨を取り上げ、鴨猟の歴史や鴨の料理、鴨のキャラクターなど様々な観点から調べ、まとめています。いろんな人にインタビューして分かったことを、イラストや写真、折り紙を使って分かりやすくまとめた所が高く評価されました。

### ○学校賞

小郡市立三国中学校の受賞理由について

受賞理由は主に2つ。13回を数える小郡ジュニア歴史博士の作品募集に対し、5回組織的に応募され、学校として『ふるさと小郡のあゆみ』活用場をつくっていること。

それぞれ回で大賞あるいは優秀賞に選ばれる作品があり、さらに表彰される作品のうち、3分の1が三国中学校の生徒の作品である。このように質の高い作品がつけられていることなどが評価され、学校賞に選ばれました。



# Press Release



令和 7 年 12 月 24 日

報道機関各位

## 小郡市文化財保存活用地域計画が認定されました

### 「文化財保存活用地域計画」とは

文化財保護行政のマスタープラン（中・長期の方向性）とアクションプラン（実施する具体的な事業）の双方の役割を担います。この計画を作成し、実施することで、住民・民間団体・行政などが地域総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制を作り上げ、地域の特徴を生かした地域振興につなげるとともに、文化財を確実に次世代へ継承することが期待できます。

### 計画作成・認定までの経緯

平成 30 年、文化財保護法が改正され、市町村が作成する文化財保存活用地域計画の文化庁長官による認定が制度化される。

令和 2 年 3 月、文化財の保存・活用に関するマスタープランとして「小郡市歴史文化基本構想」を策定。

令和 5 年、協議会を設置し「小郡市文化財保存活用地域計画」の作成を開始。

令和 7 年 4～5 月、計画案に対するパブリックコメントを実施。

令和 7 年 12 月 19 日、文化庁より認定（福岡県内の認定件数は 10 件）。

### 計画の内容

小郡市は古来、ひと・もの・情報が行き交う交通の要衝であり、これによって豊かな歴史文化が育まれてきました。計画では、市の歴史文化の特徴やこれを構成するさまざまな文化財の情報をまとめ、現在の文化財保護を取り巻く課題を整理した上で、文化財調査の充実や文化財の周辺環境の改善、新たな手法による文化財の活用促進など、具体的な取り組みを挙げています。

（計画本文は市ホームページにて PDF データで公開しています）

<https://www.city.ogori.fukuoka.jp/204/273/5643>



なお、今回認定された計画は、令和 8 年度～令和 17 年度の 10 年間を実施期間とし、文化財の保存と活用のための具体的な取り組みを進めていきます。

添付資料



（ 5 枚）

・

無

問合せ先

担当課：文化財課

担当者名：上田

連絡先：0942-75-7555

令和7年12月19日

## 文化財保存活用地域計画を26件認定しました

文化審議会（会長 <sup>しまたに ひろゆき</sup> 島谷 弘幸）は、令和7年12月19日（金）に開催された同審議会文化財分科会において、26件（27市町村）の文化財保存活用地域計画を認定することを文化庁長官に答申しました。これを踏まえ、文化庁長官は答申のあった文化財保存活用地域計画を認定しました。

### ●令和7年12月19日に認定した文化財保存活用地域計画（26件（27市町村））

- |                   |             |            |
|-------------------|-------------|------------|
| ①鹿角地域（秋田県鹿角市・小坂町） | ⑪福井市（福井県）   | ⑳新見市（岡山県）  |
| ②長井市（山形県）         | ⑫あわら市（福井県）  | ㉑日高村（高知県）  |
| ③大熊町（福島県）         | ⑬安曇野市（長野県）  | ㉒小郡市（福岡県）  |
| ④水戸市（茨城県）         | ⑭郡上市（岐阜県）   | ㉓添田町（福岡県）  |
| ⑤千葉市（千葉県）         | ⑮富士宮市（静岡県）  | ㉔津久見市（大分県） |
| ⑥東金市（千葉県）         | ⑯島田市（静岡県）   | ㉕宮古島市（沖縄県） |
| ⑦鴨川市（千葉県）         | ⑰精華町（京都府）   |            |
| ⑧相模原市（神奈川県）       | ⑱河内長野市（大阪府） |            |
| ⑨小田原市（神奈川県）       | ⑲尼崎市（兵庫県）   |            |
| ⑩村上市（新潟県）         | ㉚宍粟市（兵庫県）   |            |

※河内長野市は、第2期計画を認定

今回の認定により、認定した地域計画は235件（236市町村）となりました。

#### <担当>

文化庁文化資源活用課

計画推進係 才木・大山

電話：075-451-9669（直通）

広域文化観光部門

文化財調査官 長尾・村上

電話：075-451-4111（内線9670）

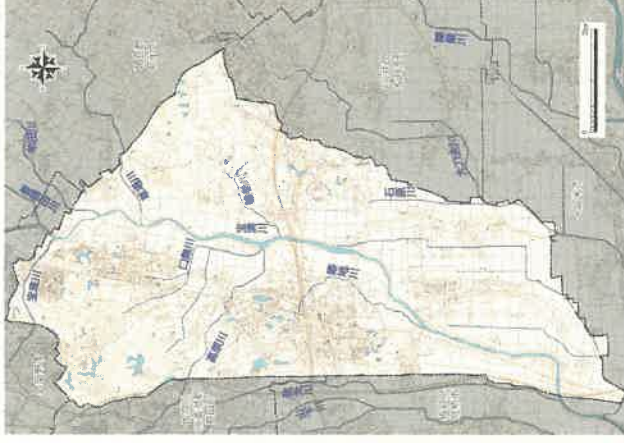
【計画期間】令和8～17年度（10年間）

【面積】 $45.51\text{km}^2$

【人口】約6.0万人

【関連計画等】100年フード

「小郡の鴨を取り巻く食文化」  
(R3年度)



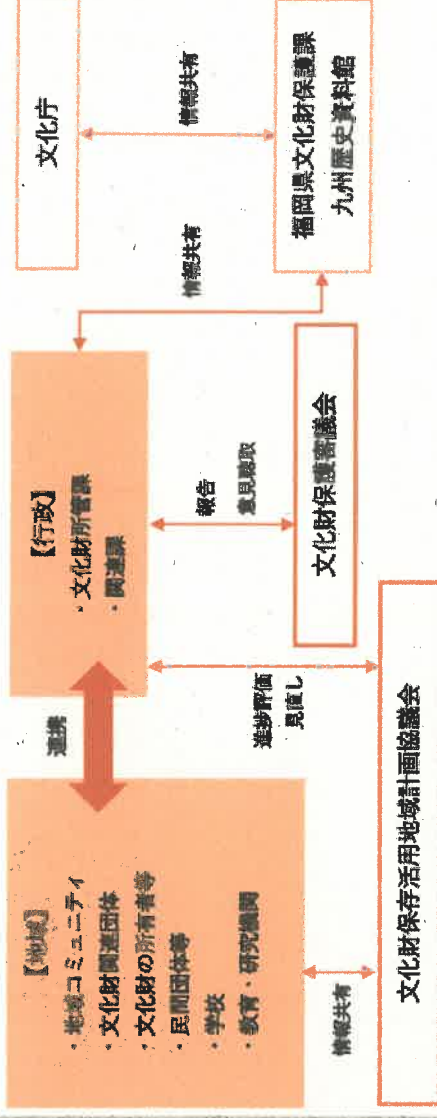
## 指定等文化財数一覧

| 類型    | 国指定・選定     | 国選択 | 県指定 | 市指定 | 国登録 | 市登録 | 計  |   |
|-------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|---|
| 有形文化財 | 建造物        | 0   | —   | 0   | 4   | 2   | 0  | 6 |
|       | 絵画         | 0   | —   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0 |
|       | 彫刻         | 0   | —   | 1   | 2   | 0   | 0  | 3 |
|       | 工芸品        | 0   | —   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0 |
|       | 書跡・典籍      | 0   | —   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0 |
|       | 古文書        | 0   | —   | 0   | 0   | 0   | 0  | 0 |
|       | 考古資料       | 1   | —   | 3   | 2   | 0   | 0  | 6 |
|       | 歴史資料       | 0   | —   | 0   | 3   | 0   | 0  | 3 |
|       | 無形文化財      | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | —  | 1 |
|       | 民俗         | 0   | —   | 0   | 0   | 0   | —  | 0 |
| 文化財   | 有形の民俗文化財   | 0   | —   | 0   | 0   | —   | —  | — |
|       | 無形の民俗文化財   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | —  | 1 |
| 記念物   | 遺跡         | 1   | —   | 2   | 4   | 0   | —  | 7 |
|       | 名勝地        | 0   | —   | 0   | 0   | 1   | —  | 1 |
| 文化的景観 | 動物・植物・地質鉱物 | 0   | —   | 1   | 3   | 0   | —  | 4 |
|       | 文化的景観      | 0   | —   | —   | 0   | —   | —  | 0 |
|       | 伝統的建造物群    | 0   | —   | —   | 0   | —   | —  | 0 |
| 計     | 2          | 0   | 7   | 20  | 3   | 0   | 32 |   |

指定等文化財は、32件

未指定文化財は、20,596件把握

## 推進体制



# 歴史文化の特性

# I 交流がもたらした歴史文化

小郡市は、日本の中では朝鮮半島や中国大陸に近く、玄界灘と有明海を結ぶ場所にある。また地峡帯という地形の影響で、福岡平野と筑後平野の両方からひと・ものが出入りした。九州各地や近畿地方、朝鮮半島とも活発に交流し、独自の歴史文化を生み出した。

## II 交通の要衝に生まれた歴史文化

古来ひと、もの往来が活発な小郡市には、時代ごとに新たな交通網が整備された。沿線に集落が成立し、松崎や小郡に代表されるような賑わいが生まれ、経済活動が発展した。交通の要衝に集結したひと・もの・情報は、相互に影響し合い、独自の歴史文化を生み出した。

### III 暮らしを支える生業の歴史文化

小郡市では、弥生時代初頭の水稲栽培から農業が始まった。宝満川の豊富な水とその流れに由来する肥沃な土地は、当市を象徴する田園風景を形づくっている。灌漑や開拓など、実りを得るための人びとの苦勞と創意工夫が、独自の歴史文化を生み出した。

#### IV 豊かな自然が育んだ歴史文化

小郡市には、宝満川とその支流、緑あふれる田園風景、鴨やコウノトリが飛来する溜池など、豊かな自然環境がある。これらは人びとに恩恵をもたらす一方、風水害の際は命を脅かすものでもあった。人知の及ばない自然への畏怖や神仏の加護を願う気持ち、独自の歴史文化を生み出した。



# 【基本理念】市民とともに文化財を学び、楽しみ、内外に誇れるふるさつをつくる

## 基本方針1 文化財を「知る」

### 文化財を「知る」についての課題

- A-1. 名勝地・文化的景観・人物史の把握調査が不十分である
- A-3. 把握調査・現況調査を行ってきた有形文化財や民俗文化財は専門的視点で調査・研究を行う必要がある
- A-5. 大学や教育・研究機関との連携が不十分である
- B-1. 学校教育での文化財の価値共有の方法を進展させる必要がある等

### 文化財を「知る」についての方針

- A-1. 把握調査の実施
- A-3. 詳細調査の実施
- A-5. 調査・研究に関する教育・研究機関との連携
- B-1. 学校教育での文化財の価値共有の方法の進展等

### 文化財を「知る」についての措置の例

- ③ 詳細調査の実施 «最重点»  
有形文化財や民俗文化財について、専門的な視点で詳細調査を行う  
■行政(文化財)、地域(教育・研究機関) ◆R8~17
- ⑨ 学校教育の支援方法の検討  
学校教育の現場でより主体的な歴史文化の学習が行えるよう、支援の方法を検討する  
■行政(文化財、学校教育)、地域(学校) ◆R8~17
- ⑪ 市史ダイジェスト版『ふるさと小郡のあゆみ』の活用  
学校教育での市史ダイジェスト版『ふるさと小郡のあゆみ』の新たな活用方法を提案する  
■行政(文化財、学校教育)、地域(学校) ◆R8~17

## 基本方針2 文化財を「守る」

### 文化財を「守る」についての課題

- D-1. 文化財の保存・活用の担い手を確保することが難しくなっている
- E-1. 文化財の所有者や文化財関連団体、民間団体等の活動が連携していない
- F-2. 文化財の保存・活用のため、周辺環境の保全や設備等の整備・更新が必要である
- G-1. 文化財の保存・継承のための指定・登録が必要である等

### 文化財を「守る」についての方針

- D-1. 文化財の保存・活用の担い手育成
- E-1. 文化財の所有者や文化財関連団体、民間団体等の連携の支援
- F-2. 文化財の保存・活用のための環境整備等
- G-1. 文化財の指定・登録の推進等

### 文化財を「守る」についての措置の例

- ③ 文化財周辺の便益施設の整備・更新  
«重点»  
文化財周辺の便益施設の整備・更新を進める  
■行政(文化財) ◆R8~17
- ② 新規の指定・登録の推進 «重点»  
文化財の保存と継承のため、詳細調査を行うて学術的価値を判断し、必要に応じた文化財指定・登録等を行う  
■行政(文化財)、教育・研究機関 ◆R8~17
- ③ 花立山古墳群の史跡指定と計画の作成  
«重点»  
花立山古墳群の史跡指定と、その後の保存・活用に向けた計画の作成に取り組む  
■行政(文化財)、地域(文化財の所有者等、地域コミュニティ) ◆R8~11

## 基本方針3 文化財を「活かす」

### 文化財を「活かす」についての課題

- I-1. 社会情勢に対応した文化財の情報発信が必要である
  - J-1. 地域まちづくりと文化財の連携の強化が必要である
  - J-2. 観光振興と文化財の連携の強化が必要である
  - M-1. 官学・官民の連携に文化財を取り込む余地がある等
- ### 文化財を「活かす」についての方針
- I-1. 多様な情報発信の実施
  - J-1. 地域まちづくり活動との連携強化
  - J-2. 観光振興との連携強化
  - M-1. 文化財を活かす官学・官民連携の推進等

### 文化財を「守る」についての措置の例

- ③ 埋蔵文化財調査センターのホームページの更新 «重点»  
動画配信や情報公開を促進するため、埋蔵文化財調査センターのホームページをリニューアルする  
■行政(文化財、新公共マシナリ推進)、地域(民間団体等) ◆R8~17
- ④ 文化財の特別公開の実施  
店舗などで利用されている文化財の特別公開を行う  
■行政(文化財)、地域(文化財の所有者等) ◆R8~17
- ④ 文化観光への文化財の活用 «重点»  
文化財を文化観光に活用する  
■行政(商工観光、文化財)、地域(文化財関連団体、民間団体等) ◆R8~17



## 関連文化財群

### ① 津古古墳群と小郡の古墳文化

小郡市には、九州の中でも早くから古墳が造られた。古墳時代前期、三国丘陵に造られた4基の前方後円墳は、この地域の首長が4世代に渡って築いたものである。三郡山地や宝満川、花立山、南の台地を一望できる位置にあるこれらの前方後円墳は、ヤマト王権と政治的なつながりを持った者の墓と考えられている。

### ② 古代郡衙の災害と復興～小郡官衙遺跡群

飛鳥時代の当市は、筑後国の御原郡とされ、このころ整備された律令に基づいて地方支配が行われた。御原郡を治めた行政機関は、上岩田から小郡、そして三井郡大刀洗町へ移転することと有名である。この移転・再建の背景には、災害からの復興と防衛のための戦略があった。

### ③ 九州南北朝最大の合戦 大原合戦

南北朝時代、当市と三井郡大刀洗町・久留米市を舞台に「大原合戦（大原合戦）」と呼ばれる大規模な合戦が繰り広げられた。この戦いは、中世戦記文学『太平記』に「菊池合戦ノ事」の項で記されている。

## 文化財保存活用区域

各区域において、文化財を活かした魅力的な空間を創出し、区域の特徴を活かして、活力あるまちづくりへつなげる取り組みを進める。

### I. 三国丘陵区域

市の北西部にあり、最も人口が集中している区域である。文化財の保存・活用を行う埋蔵文化財調査センターと、九州歴史資料館が所在している。弥生時代から古墳時代にかけての考古資料を多数確認している。

### II. 横隈区域

市の北部中央、宝満川中流の西岸にある区域である。区域を縦断する旧筑前街道は、江戸時代中ごろまで参勤交代道として用いられ、旧横隈町が宿場町として繁栄した。

### ④ 江戸時代の旅路～旧筑前街道・薩摩街道・彦山道

寛永12（1635）年、参勤交代制度が定められ、九州にも長崎と小倉を結ぶ長崎街道をはじめとする街道や宿場が整備された。交通の要衝である当市には、南北に走る旧筑前街道と薩摩街道、東西に走る彦山道の3つの道が敷かれ、大雨や川の氾濫に備えた土居や野越堤が整えられた。

### ⑤ 大刀洗飛行場と戦争

大正8（1919）年、朝倉市・朝倉郡筑前町・三井郡大刀洗町にまたがる山隈原に陸軍大刀洗飛行場が完成した。当市は九州の運輸・交通の大動脈である国鉄鹿児島本線や福岡・久留米間の国道（現・国道3号）と飛行場を結び位置に置かれたことから、軍用道路や鉄道が敷設され、訓練施設などが置かれた。

### ⑥ 宝満川と溜池～美りを支える水

宝満川が中央を貫流する当市では、古くから水とともに人びとの暮らしがあった。今でもダブリュウや川祭り（川まつり）といった、水の神に関する行事が数多く行われている。また市内をめぐる水路や溜池に、農業に欠かせない水を求めて奔走した人びとの歴史が残っている。

### ⑦ 榎と小郡

江戸時代中ごろ、小郡の庄屋である池内孫左衛門は、耕作地が乏しく経済的に困窮していたこの地域で、榎の栽培を勧めた。あわせて、町内の青年の内山伊吉と品種改良を行い、美成りの良い「伊吉榎」を生み出した。これを起点に小郡で榎産業が発展し、のちに「小郡榎」と呼ばれるほどの富を蓄えるようになった。

### ⑧ 小郡の食文化 鴨料理

三国丘陵は宝満川や支流の水を農業に利用することが難しかったため、溜池が数多く造られた。この溜池や沢、溜田に、秋から冬にかけて鴨の大群が飛来する。鴨の捕獲と調理・提供は、小郡の食文化として長年受け継がれてきた。

### ⑨ 民間信仰 さまざまな祈りのかたち

古くから人びとは、災害や疫病などへの不安を取り除き、農産物の豊かさを祈り、神仏に祈りを捧げてきた。男児の成人儀礼に宝満山へ参拝する宝満信仰、子どもの健康やかな成長を夏季に祝う七夕信仰、生活圏の中で自然石を祭神としてまつる石神信仰など、この地域特有の信仰がある。

### III. 花立山区域

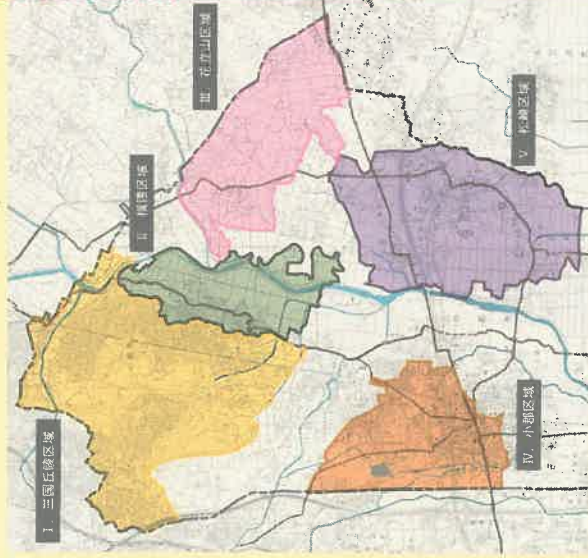
市の北東部、当市唯一の山である花立山とその麓にある区域である。筑後と筑前（朝倉郡筑前町）の国境にあり、山を臨む景観や豊かな自然は広く市民に愛されている。

### IV. 小郡区域

市の西部中央、江戸時代の往還である彦山道（現・国道500号）に沿った在郷町の小郡町とそこから博多や大保を結ぶ道沿いの区域である。今でも当市の行政・金融・商業の中心としてにぎわいを見せている。

### V. 松崎区域

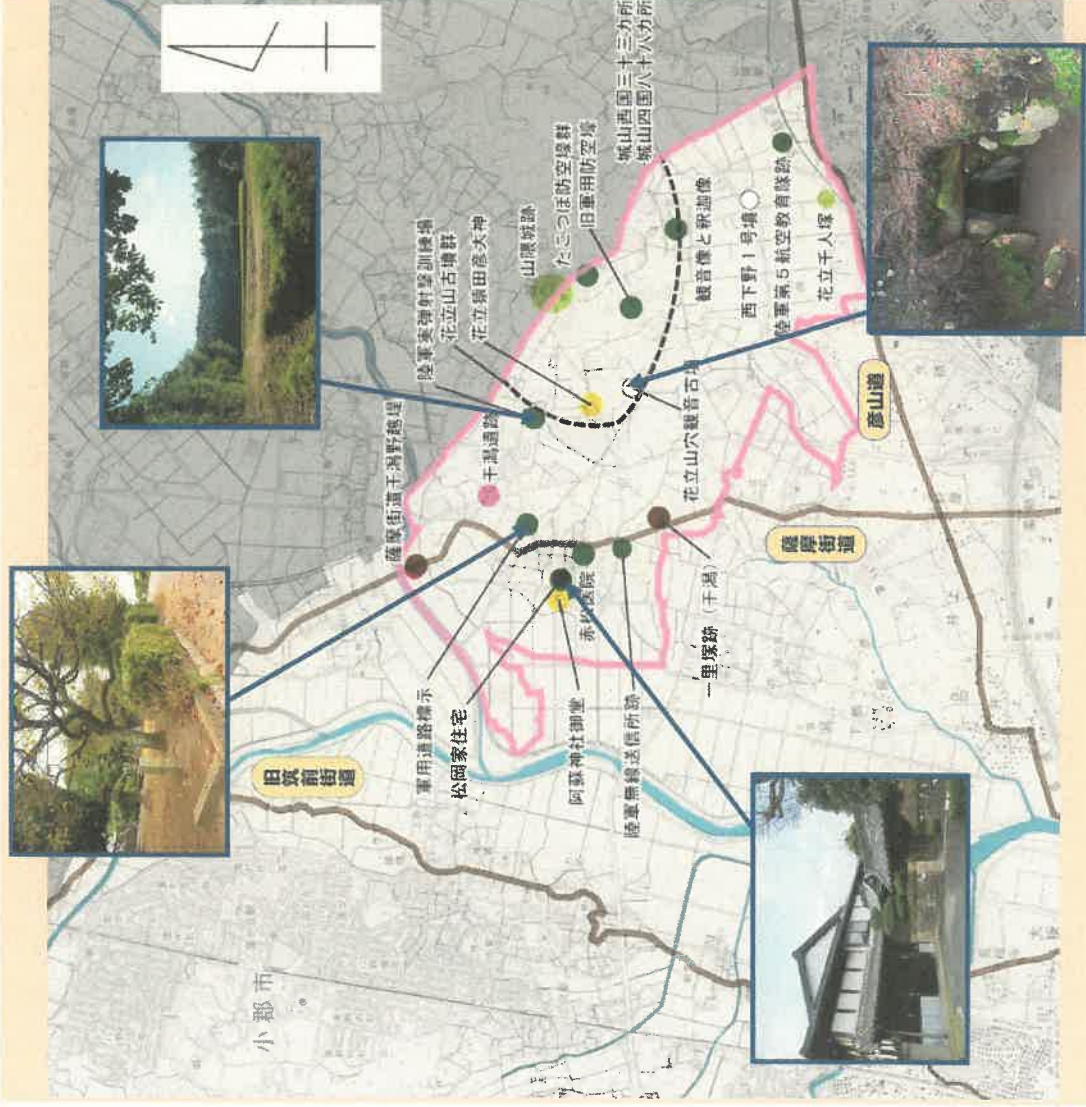
市の東部中央、延宝6（1678）年に参勤交代道に定められた薩摩街道の宿場町であった旧松崎町から、肥前と英彦山神宮を結ぶ彦山道沿いの井上までの区域である。九州南部の諸大名をはじめとするとする人びとの往来により大いにぎわった。





## 概要

市の北東部、当市唯一の山である花立山とその麓にある区域である。筑後と筑前（朝倉郡筑前町）の国境にあり、山を臨む景観や豊かな自然は広く市民に愛されている。また、花立山とその麓には300基以上の古墳があり、九州北部でも有数の古墳密集地として知られている。



課題

- 花立山古墳群・戦争に関する遺跡・信仰にまつわる建造物について、保存・活用のために専門的な視点での詳細調査が必要である
- 花立山古墳群は古墳だけでなく、山を臨む景観など周辺環境を含めて保存していく必要がある
- 経年劣化の進む建造物や遺跡を、保存・活用のために歴史的価値を判断した上で指定・登録する必要がある
- 花立山古墳群は、史跡指定と今後の保存・活用のための計画が必要である
- 花立山古墳群は保存・活用のための整備に向けた調査が必要である等

**方針**

- A-1. 花立山区域の文化財の専門的な視点での調査・研究の実施
- E-2. 花立山古墳群の保存のための景観計画等との連携
- G-1. 文化財の指定・登録の推進
- K-1. 文化財の活用のための整備促進

## 主な措置

- ③ 詳細調査の実施 《最重要》  
花立山区域に所在する記念物（遺跡）・民俗文化財（有形の民俗文化財）の詳細調査を行う  
■ 行政（文化財）、地域（教育・研究機関） ◆ R8～17
- ③② 新規の指定・登録の推進 《重点》  
保存と継承のため、花立山区域に所在する有形文化財（建造物）・記念物（遺跡）の詳細調査を行い、必要に応じた指定・登録等を行う  
■ 行政（文化財）、地域（教育・研究機関） ◆ R8～17
- ③③ 花立山古墳群の史跡指定と計画の作成 《重点》  
花立山古墳群の史跡指定と、その後の保存・活用に向けた計画の作成に取り組みます  
■ 行政（文化財）、地域（文化財の所有者等、地域コミュニティ） ◆ R8～11
- ④⑥ 地域での保存・活用を前提とした花立山古墳群の将来的な整備のための基礎調査 《重点》  
地域コミュニティによる保存・活用を円滑に進めるため、花立山古墳群の将来的な整備に向けた住民の意向等の調査を行う  
■ 行政（文化財）、地域（地域コミュニティ） ◆ R8～11



# Press Release



令和7年12月24日

報道機関各位

小郡市文化財保存活用地域計画 認定記念講演会

## 「文化財とまちづくり」～地域の宝について考えてみませんか？～

地域のたからである文化財を、官民一体となって守り、次代へ伝えるため、市は令和5年度から「小郡市文化財保存活用地域計画」を作成してきました。12月19日、この計画が文化庁に認定され、令和8年度から始動します。

これに先立ち「文化財を地域ぐるみでどう守るか」「文化財をまちの活性化にどのように活かすか」について、さまざまな視点から紹介します。

### 〔第1回〕

日 時：1月25日（日）10時～11時半

講 師：山下永子さん（九州産業大学教授）「都市マーケティングの視点から」

### 〔第2回〕

日 時：2月7日（土）13時半～15時

講 師：時里奉明さん（筑紫女学園大学教授）「歴史学の視点から」

### 〔第3回〕

日 時：2月23日（月・祝）10時～11時半

講 師：大森洋子さん（久留米工業大学教授）「建築学の視点から」

会 場：小郡市埋蔵文化財調査センター 研修室

定 員：各回60人（先着順）

参加費：無料

申込み：1月6日（火）9時から 電話・申込フォームより

問合せ先：小郡市埋蔵文化財調査センター ☎ 0942-75-7555

### ※「文化財保存活用地域計画」とは

文化財の保存・活用についてのマスタープランとアクションプランで、基本理念や保存・活用に関する現在の課題、課題を解決するための具体的な取り組みを記載しています。

市が目指す文化財の保存・活用の将来的なビジョンや具体的な事業等の計画を定め、これを進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用を促進します。また、文化財行政の取り組みを対外的に示し、地域住民や民間団体の理解や協力を得ることで、地域総ぐるみの文化財の保存・活用を行います。

添付資料 ⑦ （1枚） ・ 無

問合せ先

担当課：文化財課

担当者名：上田・大城

連絡先：0942-75-7555



# 小郡市文化財保存活用地域計画 認定記念講演会 「文化財とまちづくり」

地域の宝である文化財を、地域ぐるみでどう守るか？  
文化財をまちの活性化へどのように活かすか？  
さまざまな視点から紹介します。

会 場：小郡市埋蔵文化財調査センター研修室

定 員：各回60名(先着順) 参加費：無料

申込み・問合せ：小郡市埋蔵文化財調査センター(☎0942-75-7555)

主催：小郡市教育委員会

申込みフォーム



## 建築学の視点から

2月23日(月祝) 10時～11時半

大森洋子さん(久留米工業大学教授)

## 歴史学の視点から

2月7日(土) 13時半～15時

時里奉明さん(筑紫女学園大学教授)

## 都市マーケティングの視点から

1月25日(日) 10時～11時半

山下永子さん(九州産業大学教授)



# Press Release



令和 7 年 12 月 24 日

報道機関各位

## 歳旦祭・元旦行事



### 如意輪寺 元旦行事

通称かえる寺で親しまれている如意輪寺の元旦行事。午前0時から観音様御宝前で行われる護摩厳修（ごまごんしゅう）は、火を興して無病息災を祈願し、厄を払って福を呼び込むもの。毎年、干支のパネルが入口に設置され、口の部分をくぐれるようになっています。干支のパネルの設置は、1月17日までです。

会場・問合せ：如意輪寺（小郡市横隈 1729）、0942-75-5294



### 七夕神社（媛社神社）歳旦祭

七夕神社の年始を祝う祭祀。宮司が持ち回りの神社をまわり威勢の良い太鼓の音とともに執り行われます。

12月31日の深夜から1月3日まで、御神灯が設置される予定です。※ぜんざいのふるまいはありません。

会場・問合せ：七夕神社（小郡市大崎 1）、0942-72-4008



### 御勢大霊石神社 歳旦祭

御勢大霊石神社（みせたいれいせきじんじや）の新春を祝う祭祀。大晦日 23 時 30 分頃から、数回にわたり大保地区の子どもたちによる舟太鼓の演奏が行われます。ぜんざいや御神酒の振る舞いも予定されています。

本殿や鳥居の太いしめ縄は、地元の人が慣れた手付きで結い上げられたもの。何十年も携わっている熟練の技によるものです。

#### 【お札やお守り、御朱印】

1月1日～4日は、お札・お守りの販売や御朱印授受あり（販売は15時頃まで）。

#### 【午前0時よりお祓い】

奥の院は関係者のみ、二の院は密にならない程度で一般のお客様もお祓い可。

会場・問合せ：御勢大霊石神社（小郡市大保 1032）、0942-75-3350



添付資料 無

古いお札や  
しめ縄など

(一社)小郡市観光協会 0942-72-4008

担当課：商工観光課  
担当者名：一木（いちき）  
連絡先：0942-73-9103（直通）

# Press Release



令和7年12月24日

報道機関各位

## 令和7年度二十歳のつどいを開催します

令和4年度より名称を「成人式」から「二十歳(はたち)のつどい」という名称に変更して実施しています。

今年度の小郡市では661名(12月1日時点)のおごおりっ子が二十歳を迎えます。

前途洋々として希望に満ち溢れる二十歳を迎えるおごおりっ子を祝福し、今後の健闘を祈念して二十歳のつどいを開催します。

日 時：令和8年1月11日(日)

11:30 ～ 12:30 受付

12:30 ～ 13:00 式典

13:00 ～ 13:10 恩師からのメッセージ

13:10 ～ 14:20 校区別記念写真撮影



場 所：小郡市文化会館大ホール（小郡市大板井 136 番地1）

対象者：平成 17(2005)年 4 月 2 日 ～平成 18(2006)年 4 月 1 日生まれの方

主 催：小郡市・小郡市教育委員会・令和7年度二十歳のつどい実行委員会

内 容：【式典】主催者挨拶、実行委員会代表の挨拶、二十歳代表者の挨拶2名

※式典後に小中学校の担任の先生方からお祝いの言葉を述べていただきます

添付資料 無

問合せ先

担当課：子ども育成課

担当者名：西山

連絡先：0942-72-6666（内 744）



# Press Release



令和7年12月24日

報道機関各位

## 令和8年小郡市消防出初式を開催します

新春恒例の小郡市消防出初式を、小郡小学校グラウンドにて開催いたします。

式典では観閲や行進、陸上自衛隊音楽隊による演奏が行われ、西鉄小郡駅前通りで消防団員・消防車両のパレードがあります。

|      |                                                                                                                                                                  |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時  | 令和8年1月12日(月・祝)午前9時00分～正午                                                                                                                                         |
| 場 所  | 小郡小学校グラウンド(小郡市小坂井288)                                                                                                                                            |
| 参加者  | 小郡市消防団、三井消防署、陸上自衛隊小郡駐屯地                                                                                                                                          |
| 内 容  | <ul style="list-style-type: none"><li>・観閲</li><li>・分列行進</li><li>・訓練展示(三井消防署)</li><li>・音楽隊の演奏(陸上自衛隊小郡駐屯地)</li><li>・表彰</li><li>・市内パレード(西鉄小郡駅西交差点～西鉄小郡駅前)</li></ul> |
| 特記事項 | ・写真提供可能です。                                                                                                                                                       |
| 添付資料 | ① (1枚) ・ 無                                                                                                                                                       |

問合せ先

担当課：防災安全課 消防・安全係

担当者名：田中、中川、大石、秋山

連絡先：0942-73-9109

## 【観閲】

## 添付資料

前回の様子



## 【分列行進】



## 【市内パレード】





令和7年12月24日

報道機関各位

## 世代をつなぐ炎行事、市内三か所で左義長開催

### 子どもから大人まで炎で1つに、地域の新春行事

小郡市内ののぞみが丘小学校区・御原校区・立石校区において、左義長(さぎちょう)を開催します。左義長は、竹で組んだやぐらの中でしめ縄飾りや書き初めなどを焚き上げ、無病息災や家内安全などを祈るものです。のぞみが丘小学校区では、どんど焼きと呼んでいます。

なお、立石校区は、こどもスポーツ大会の優勝チームが点火式に参加します。

新年の健康と幸せを願い、こどもたちの参加で地域の絆をさらに深める行事にしていきます。

- 日時    のぞみ: 令和8年1月11日(日) 10時  
          御原: 令和8年1月11日(日) 10時  
          立石: 令和8年1月12日(月) 11時
- 場所    のぞみ: のぞみが丘小学校運動場(小郡市希みが丘5丁目2-17)  
          御原: 御原小学校運動場(小郡市二タ316)  
          立石: 立石地域運動広場(小郡市干潟2047)
- 主催    のぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会、御原校区協働のまちづくり協議会、  
          立石校区協働のまちづくり協議会
- 備考    ・雨天中止です。  
          ・見学は自由ですが、駐車場に限りがありますので、取材にお越しいただける場合は、  
          1/9(金)16時まで、下記問い合わせ先にご連絡ください。

添付資料 無



昨年度の左義長の様子



のぞみまち協はホームページを開設しています。ぜひご覧ください。

問合せ先  
担当課: コミュニティ推進課  
担当者名: 城戸・中川・中寄  
連絡先: 0942-73-9126

令和7年12月24日

報道機関各位

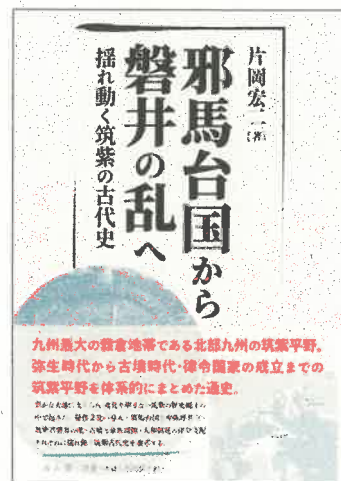
## 片岡宏二埋蔵文化財調査センター所長が 筑紫古代史論考を上梓 —四半世紀にわたる邪馬台国研究の集大成—

46年にわたり小郡市をはじめとした北部九州の歴史研究に携わってきた片岡宏二・埋蔵文化財調査センター所長が、令和8年3月末をもって退任します。

12月25日に出版する著書『邪馬台国から磐井の乱へ 揺れ動く筑紫の古代史』は、筑紫平野の歴史を体系的にまとめたものです。弥生時代や邪馬台国に焦点を当てた長年の地域研究の集大成となるもので、九州最大の穀倉地帯であるこの地域の弥生時代から古墳時代、律令国家の成立までが体系的にまとめられています。

### 【著書情報】

- ・書名 『邪馬台国から磐井の乱へ 揺れ動く筑紫の古代史』
- ・著者 片岡宏二
- ・初版 令和7年12月25日
- ・出版社 雄山閣



片岡宏二（かたおか・こうじ）小郡市埋蔵文化財調査センター所長

昭和31年 福岡県生まれ

昭和54年 早稲田大学第一文学部日本史学専攻卒業

小郡市教育委員会技師、平成29年行橋市歴史資料館館長を経て、令和元年4月から現職  
認定NPO法人文化財保存工学研究室事務局長、文学博士（考古学）

### 【主要著作】

- ・『弥生時代 渡来人と土器・青銅器』雄山閣
- ・『弥生時代 渡来人から倭人社会へ』雄山閣
- ・『邪馬台国論争の新視点—遺跡が示す九州説—』雄山閣
- ・『続・邪馬台国論争の新視点—倭人伝が語る九州説—』雄山閣
- ・『続々・邪馬台国論争の新視点—東アジアから見た九州説—』雄山閣
- ・共著『九州考古学散歩』学生社

担当課：小郡市文化財課

電話：0942-75-7555



# Press Release



令和7年12月24日

報道機関各位

## 九州歴史資料館 節分イベント「きゅうれき鬼×福まつり」開催

日時： 令和8年2月1日（日）10時～15時30分

場所： 九州歴史資料館

内容： 節分にあわせて、当館の代表的な収蔵品である鬼瓦をPRするイベントを開催します。「こども展示ガイド」や「ひみつの探検ツアー」のほか、豆まきゲームやお面の工作コーナーなど節分にちなんだブースもあります。物販やフード販売の出展もあります。

ひみつの探検ツアー ①10:30～②11:30～③13:30～④14:30～ ※10:00～整理券配布 各回約20分  
先着25名

こども展示ガイド ①11:00～②12:00～③13:00～④14:00～ ※10:00～整理券配布 各回約15分 定員なし

参加料：入場は無料 第1・3展示室は有料 一般210（150）円 高大生150（100）円、中学生以下、満65歳以上の方、障がいのある方とその介護者1名無料（土曜日は高校生も無料）※（ ）内は、20名以上の団体料金。

添付資料： ☒ 有（2枚） ・ ☐ 無

### 問合せ先

九州歴史資料館 文化財企画推進室

担当者：秦 憲二

連絡先：0942-75-9501

九州歴史資料館 節分イベント

鬼は外、福は内、  
魔よけに鬼瓦!!

2026  
2月1日(日)  
10:00~15:30  
事前申込不要  
入場無料(第1・3展示室有料)

きゅうれき  
おにふく  
**鬼×福**  
まつり

ちびっこ  
プレゼント企画!!

イベント  
もりだくさん

たのしいひと  
いっぱい!

ひみつの探検ツアー

フード販売

こども展示ガイド

ワークショップ・雑貨販売

古代体験

ミニゲーム・工作コーナー



九州歴史資料館  
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

T 838-0106 TEL:0942-75-9675  
福岡県小郡市三沢5208-3 FAX:0942-75-7834



アクセス  
(西鉄電車) 天神大牟田線  
三ツ島が丘駅より700m  
(JR) 鹿児島本線厚田駅より  
タクシーで約10分





九州歴史資料館 節分イベント

鬼は外、福は内、魔よけに鬼瓦！



きゅうれき

# 鬼×福

2026  
まつり



## ひみつの探検ツアー

おいでよ！ちびっこ探検家！  
九段の奥側のひみつにせまれ！

- ① 10:30
- ② 11:30
- ③ 13:30
- ④ 14:30

※10:00～整理券配布  
※各回約20分 先着25名



## こども展示ガイド

なろうよ！鬼瓦博士！  
今日から君も「鬼瓦」探し！

- ① 11:00
- ② 12:00
- ③ 13:00
- ④ 14:00

※10:00～整理券配布  
※各回約15分 定員なし



## 古代体験

古代に触れるいろいろな疑似体験!!

- 陶造体験
- 瓦マグネット
- 古代衣類着付け体験
- 土器パズル
- VR体験
- 市巻&トート オリジナルグッズ作成



節分イベント限定!

## ミニゲーム・工作コーナー

工作コーナーで作った、  
みんなでお楽しみのお酒を  
つけて鬼×福まつりを成  
しもう！  
節分ならではの豆まきゲ  
ームや投壘などのミニ  
ゲームで盛り上がりよう！



## ワークショップ・雑貨販売

手に取ってきつと欲しくなる  
雑貨の販売や様々な手作り体  
験が楽しめるワークショップ  
が勢ぞろい！



## フード販売

地元グルメでおなかを満たそう！



※イベントの内容などは変更になる場合がありますのでご了承ください。